



日米研究インスティテュート (USJI)
日米安保 50 周年記念シンポジウム
閉会挨拶 阿川 尚之 (慶應義塾大学教授、慶應義塾常任理事)

本日は活発な議論をしていただきました。パネリスト、モデレータ、スタッフ、ご来場者の皆さんに感謝の意を述べたいと思います。

日米安全保障に関する共同声明発表の日に本シンポジウムが開催されたことは非常に意義深いことと思います。

思えば、「咸臨丸」の航海は日米海軍初の共同作戦でもありました。それから 150 年。戦争をはじめ様々な危機がありましたが、多くの先人たちが常に最善の策を取ろうと努力して、危機を乗り越えてきました。我々もそうした積極的な態度を抱きつつ、このシンポジウムを閉会すべきことと思います。

本日の議論が、長く深く広い視野に基づき、今後の日米関係のあり方について多くの示唆と勇気を与えたものと信じます。

これまでの 50 年にもまして、今後の日米同盟が、健全かつ実り多い方向に進むことを期待しています。

(了)